



温故知新

#563

大友國男さんは、津別町双葉に生まれ、畑作農家を営む大友新一さん、スイさん夫妻のもと、3男2女の長男として育ちました。父・新一さんは昭和初期に双葉地区へ入植し、馬や牛の力を使って原産林を切り拓き、小麦やビートなどを栽培して、国男さんや小学生的頃から、学校が終わると畑の草刈りなど家業を手伝う日々を送ります。当時は電気やガスがなく、明かりはランプ、風呂や炊事には薪を使う暮らしでした。

小学5年生のとき、父・新一さんが39歳で他界。生活は大きく変わり、学校よりも仕事を優先するようになり、母や家族を支えるため高校進学を断念し、春から秋は農業、冬は山仕事に従事しました。伐採の仕事では飯場に入り、30人ほどの仲間と寝食を共にしながら働いていました。昭和46年、28歳のときに東藻琴出身の喜代さんと親戚の紹介で結婚。33歳で営林署に就職し、伐採業務などに携わりながら、61歳の定年まで勤め上げました。「働きものなのが、この人の良い所です」と喜代さんは語ります。趣味はマラソン。20代前半から体力づくりとして走り始め、昭和36年には第1回全津別町伝走に出場しました。昭和61年開催の第1回サロマ湖100キロウルトラマラソンでは、50キロの部で初代優勝。その後も北方領土ノサップ岬マラソン大会や別海パイロットマラソンなどに20回以上出場し、多くの大会で完走を重ねています。

生涯走り続ける鉄人

大友 國男さん おおとも くに おさん

昭和17年 83歳 双葉生まれ
活潑在住

青春 くろーずあっぷ

今年4月から保健福祉課福祉係で働く、八木沼祥子さん。障がい者手帳の交付やバスICカードの申請、生活保護関連業務のほか、高齢者宅へのエアコン設置補助など、住民の暮らしを支える業務に取り組んでいます。

津別町を志望したきっかけは、以前この町で働いていた姉の存在でした。姉の家を訪れる機会もあり、水のおいしさや木の香りなど、自然の魅力を実際に感じていたといいます。中でも、新しくなった図書館の地域性を活かした温かい雰囲気、に魅力を感じ「この町で働きたい」と思うようになりました。

「一日も早く仕事を覚え、住民の皆さんの役に立てるよう頑張ります」と、前向きな表情で話してくれました。



大好きなこの町で、暮らしを支えたい

八木沼 祥子さん やぎぬま しょうこ さん

令和8年入庁 北見市出身
津別町役場勤務

知温 新故

掲載候補者募集中!

いつも「温故知新」をご愛読いただきありがとうございます。「温故知新」では長く人生を歩まれている方の人物紹介をしております。

取材が可能な方に、お心当たりがある方は
お気軽に右記連絡先までご連絡ください。

電話番号：76-8374 (企画係直通)
FAX：76-2976
メールアドレス：town.tsubetsu@gmail.com

暮らしを支える 税 町税の納税通知書は 届いていますか

5月に令和8年度固定資産税および軽自動車税種別割の納税通知書の発送が完了しており、6月は令和8年度の町道民税、国民健康保険税、介護保険料および後期高齢者医療保険料の納税通知書を発送します。納付書(納入済み通知書)にe-LQRの印字があれば、スマホやパソコンを利用して町税のお支払いが可能となっています。昨年まで納税通知書が届いていない場合や、内容に疑問な点などありましたら、税務収納係までお問合せください。

6月は「町道民税」「国民健康保険税」「介護保険料」「後期高齢者医療保険料」第1期の納付月です。
納期限は令和8年6月30日(火)です。
口座振替をご利用の方は、引落口座の残高のご確認をお願いします。

問い合わせ先
税務収納係 10番窓口
☎77-8376

タウンニュース 第110回
Town News Tsubetsu
つべつ
Webでも公開中!
町のHPよりご確認ください!

世代交代をする 大通りの飲食店特集



人口減少が続く北海道津別町。その中心市街地「大通り」で、いま新たな希望の灯がともし始めています。

今回の「タウンニュースつべつ」では、世代交代が進む隣り合う二つの飲食店、「セッション」と「味登利家」にキャスターが突撃。店主の急逝や後継者の不在など、存続の危機を乗り越え、味の継承を決意をした若い後継者たちの想いに迫ります。

Uターンして店を継いだ若者たちは、なぜ津別町で挑戦する道を選んだのか。地域に根差し、人と人をつなぐ「大通り」の今を通して、未来へ続くまちの姿を描きます。

毎月末日 ごと更新
取材希望企業・飲食店・生産者募集!!
詳しくは役場住民企画課まで
問い合わせ先
住民企画課 企画係 14-1 番窓口
☎77-8374

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおい、北見信用金庫津別支店、網走信用金庫津別支店に設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。